

競技注意事項

1. 本選考会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本選考会申し合わせ事項により実施する。
2. 相模原ギオンスタジアム使用上の注意
 - 1) 競技場保護のため、舗装材を傷つけるような底が硬い靴での競技エリアへの立ち入りは禁止する。
 - 2) 競技場内におけるテープ等での貼り付けは厳禁とする。
 - 3) 競技場内のすべての電源は、主催者の許可なく使用してはならない。
 - 4) サイドスタンド・バックスタンドは運営関係者および大学関係者のみ立ち入り可能とし、ホームスタンドは観客のみ立ち入り可能とする。
 - 5) 競技場内のサイドスタンドを大学待機場所とする。荷物は各大学が責任を持って管理すること。また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。
 - 6) 競技エリアおよび練習場では、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みを厳禁とする。
3. 練習について
練習は、競技場周辺園路および雨天走路で行うこと。集団走での練習は厳禁とする。
なお、14時30分から17時00分までは、トラックでの練習を許可するが、事故防止のため、逆走は禁止とする。また、安全には十分に注意すること。
4. 競技者の招集について
 - 1) 招集所は100mスタート付近に設置する。
 - 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
 - 3) 招集開始・完了時刻は競技日程記載の通りとし、招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受けること。また、代理人による点呼は一切認めない。
 - 4) 招集所の入口では、腰ナンバー標識(2枚)および荷物運搬袋を受け取ること。
 - 5) 点呼の際には、アスリートビブス・ユニフォーム・腰ナンバー標識(2枚)・スパイク・商標等のチェックをする。

- 6) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んではならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
 - 7) 招集完了時刻に遅れると、欠場したものとして処理する。
5. アスリートビブスについて
- 1) アスリートビブスは大学受付で1名につき2枚配付する。そのままの大きさを胸と背に確実につけること。
 - 2) すべてのアスリートビブスは折り曲げたりしてはならない。
 - 3) 招集時に配付する腰ナンバー標識を両腰につけること。周回の確認のため、トランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰につけ、通常の腰ナンバー標識は右腰につけること。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識はレース終了後に回収する。紛失した場合は弁償となる。
6. メンバー変更について
- メンバー変更は、16時00分より正面玄関ホール(メインスタンド1階)にて行う。最終エントリー時に配付する案内に従って、メンバー変更用紙を医師の診断書と併せて提出すること。変更は正競技者と補欠競技者との交替のみとし、正競技者間での交換は認めない。また、変更が無い場合でもメンバー変更用紙を必ず提出すること。なお、当日変更は上限2名までとする。
7. 棄権について
- 1) メンバー変更時点（16時00分）で選考レースに出場できる競技者が8名に満たない大学は選考対象外とし、レースへの出場を認めない。
 - 2) 選考レース開始後、棄権者または失格者が生じ、8名分の記録がそろわない大学は選考対象外となる。ただし、個人の記録は公認記録として認める。
8. 応援について
- 1) 競技中は必ず競技役員の指示に従い応援を行うこと。競技役員の指示に従わない場合は退場を命じることもある。
 - 2) 声を出して応援をしてはいけないが、ボード等を使用し、選手へ指示を出すことができる。
 - 3) トラック上の9レーンより外側を応援場所として各大学に割り当てる。トラック上

の大学応援場所に不足が生じる場合は、サイドスタンド・バックスタンドに限り、応援を許可する。なお、トラック・サイドスタンドでの応援は、各大学指定のエリアに限る。

- 4) トラック上の 9 レーンより外側の第 1 コーナー・バックストレート中央付近をチームスタッフエリア、第 4 コーナー付近を監督・コーチングエリアとする。
- 5) メガホン・鳴り物等による応援は禁止する。サイドスタンドでは手持ちに限り、のぼり・横断幕の掲出を許可する。なお、のぼり・横断幕の掲出は各校 1 枚までとし、各大学で責任を持って管理すること。

9. 全日本大学駅伝対校選手権大会への出場枠について

本選考会で 8 名の合計タイムの上位 7 校を秩父宮賜杯第 54 回全日本大学駅伝対校選手権大会への推薦対象校とする。なお、7 校目が同タイムの場合は、当該大学代表者の抽選により、推薦対象校を決定する。

10. 競技について

- 1) 計時はすべて電気計時 (0.01 秒) を用いて計測する。
- 2) 主催者で水を準備し、給水所はバックストレートに設置する。紙コップは給水所と 200m スタート地点の間に設置する廃棄場所へ捨てることとする。

11. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者あるいはチームの行為、または記録や順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により、結果が正式発表されてから 30 分以内に、担当総務員 (大会本部常駐) を通じて口頭で審判長になされなければならない。なお、結果の正式発表は大型スクリーンで行う。この時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。

12. 商標等について

競技者が競技エリアに商標のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。基準を超える商標については必ずテープ等を貼って隠すこと。

13. 応急処置・緊急車両の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部の許可なく手配しないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わない。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2022 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

14. その他

- 1) 競技運営上、多少競技日程を変更する場合がある。
- 2) 相模原ギオンスタジアムの開閉門について
開門時刻 14 時 30 分、閉門時刻 20 時 45 分とする。
- 3) 盗難・紛失について
遺失物等はインフォメーションセンターにて管理するが、全競技終了後 1 時間以内に申し出がない場合には、即日廃棄する。
- 4) 大学で出したゴミは、必ず大学で持ち帰り処分すること。また、駅等の公共施設への廃棄は厳禁とする。
- 5) その他不明な点はインフォメーションセンターまで問い合わせること。